

一 全国大会講評

今年の全国高校定時制通信制体育大会では、選手の皆さんは近年にない素晴らしい成績を収めてくれました。男子バスケットの全国二位、バドミントン団体のベスト八進出、男子走り幅跳びの八位入賞は見事でした。また、上位への進出こそかなわなかったものの、女子バスケット、卓球女子個人、バドミントン女子個人の頑張りも賞賛に値するものでした。全国大会に出場した皆さんはこの貴重な体験と獲得した自信を今後の学校生活にしっかり生かしてほしいと思います。

二 生徒会役員退任・任命

今まで様々な活動に尽力してくれた生徒会長を始めとした旧生徒会役員の皆さん大変お疲れ様でした。この一年間をとおしてたくさんのお話を学んだのではないのでしょうか。協力することの大切さや、自分たちの思いや考えを生徒全体に伝えていくことの難しさなど様々なことがあったと思います。しかし皆さんの存在があったからこそ、学校行事が大いに盛り上がり、生徒一人一人が心に残る思い出をつくることのできたのです。改めて旧生徒会役員の皆さんにお礼を述べたいと思います。本当にありがとうございました。

さて、新しく任命された生徒会役員の皆さん、これから一年間よろしくお願いします。皆さんは七月二十八日～二十九日の二日間、青少年の天地で「リーダー研修」と称して生徒会とは何か、さらに素晴らしい中央高校風間部を創りあげるのに自分たちに来ることとは何かなど、意義のある研修を体験しました。全国定通大会での活

躍をはじめ、今、風間部は大変良い方向に進んでいます。ぜひ、旧生徒会役員の皆さんの思いを引き継いでさらに素晴らしい学校づくりに頑張ってください。

三 これからの学校生活に向けて

夏休みも終わり、今日から学校が再開されますが、実際には今週から体育大会の練習が始まっており、休み気分も吹き飛んでいるのではないかと思います。

私はこの夏休みの様々な出来事をおして、皆さんに改めて「あきらめないこと」と「自分の可能性を信じることの大切さ」を伝えなければならぬと思いました。

その出来事とは、一つ目は、ロンドンオリンピックの女子レスリング四十八kg級で金メダルを獲得した小原日登美選手です。彼女は世界選手権五十一kg級で六度も優勝したことがあるのですが、オリンピックでは五十一kg級がなく、一度は引退したのです。今回四十八kg級で現役復帰し、レスリング生活二十三年間で見事に金メダルを獲得しました。

二つ目は、小惑星「イトカワ」に到着し奇跡の生還を果たした探査機「はやぶさ」です。和歌山県で全国高校PTA大会が開催され、JAXA(宇宙航空発機構)の川口淳一郎先生の講演を聞く機会がありました。「はやぶさ」は二〇〇三年五月に小惑星「イトカワ」を目指して打ち上げられ、二〇〇五年夏に到着、その表面を詳しく観察し、サンプル採集を試みた後、二〇一〇年六月十三日往復六十億kmの旅を終え、地球の大気圏に再突入しました。帰路エンジンの異常が発生し帰還が絶望されました。しかし、スタッフの「あきらめない」という強い意志と努力により、「はやぶさ」本体は大

途中で燃え尽きました。が、「イトカワ」の微粒子の入ったカプセルを回収することができたのです。

三つ目は、もちろん全国定通大会での本校選手諸君の頑張りです。夢や目標の実現のために、「己の可能性を信じ、あきらめないで努力を続けることの大切さ」を、これから改めて学ぶことが出来ました。皆さんも「やれば、出来る!」という己の可能性を信じ、さらにたゆまぬ努力を続けてくれることを期待しています。

これからは体力も気力も充実する時期を迎えます。まずは、来週の体育大会を素晴らしいものに創りあげ、中央高校風間部の気概を内外に力強く示してください。以上で私からの話を終わります。

